

パルde子育て

第5号 2012年 3月



こころ豊かな子育てのためのヒント

2011. 9. 5 子育てセミナーより抜粋

子育てに追われる日々には、不安やいらだちを覚え悩み、こころを痛めることも少なからずあるのではないのでしょうか。

子育てをする上で、また普段のくらしの中で‘～だからいけなかった’‘～だからだめなんだ’‘～だけど、でも…’‘～な私が悪い’と自分を否定的、悲観的に評価することはありませんか。

健やかな子育てのためには、まずは親のこころの健康が大切です。長所も短所も含めたありのままの自分を受け入れることから、他者のありのままを受け入れることができます。そこから夫婦や親子の関係の中にこころの安定が生まれます。

子どもに対し、できていないことのすべてに注意することから、「価値観やどのような人になってほしいのかというような、子育てに対する方針や信念を持つこと」で、子どもに対しての見方を大きく捉えることができます。

人格を否定することなく子どもが分かりやすい言葉で、何をどのように伝えるか、端的に内容や方法がその都度ぶれないようにすることが大切です。

子どもの気持ちに寄り添い、受け入れながら、あせらず大きくとらえ、一步一步進んでいきましょう。



『子どもの成長と親子関係の変化』

0歳～の子どもと親(母)との関係 = 「だっこの関係」

だっこされる中で親子で触れ合い、ともに行動することから、いろいろなことを学んでいく時期

1歳～ = 「すべり台の関係」

いっしょの体験をしながら共感し、子どものやりたい気持ちや子どものすることを伸ばす時期

3歳～ = 「ブランコの関係」

いっしょの体験をしつつ、少し離れる時期。子離れ、親離れの入り口

学童期になると = 「電話の関係」

子どもは家から外の世界へ飛び出していく。不安があればいつでも親の元へ助けを求められる。親からの精神的自立の時期であり子どもを尊重し距離を保つ

中野由美子編著『21世紀の親子支援 保育者へのメッセージ』(ブレーン社)を参考に話された内容

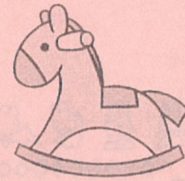
常設型子育て広場

パルちゃん広場すくすく

乳幼児やその保護者・プレママが一人でも気軽に寄れてほっとできる場所を目指してスタートした「常設型子育て広場 パルちゃん広場すくすく」は3年目をむかえることとなりました。

城東組合員会館3階で、週2回（火・木）10時から3時まで開催しています。時間内ならいつ来て、いつ帰っても出入り自由です。

毎回子どもたちの楽しそうな声や泣き声でとても賑やかです。



一日の中で特に賑わうのはランチの時間です。

それぞれに持参したお昼ごはんを、黙々と食べる子もいれば、スプーンで遊び始める子、歩き回る子もいれば、途中で眠ってしまう子も…。子どもたちの個性もさまざまです。お母さんたちの話しも弾みます。育児の話や昨日の晩ごはんのことなど…。スタッフも一緒にいろいろな話して盛り上がります。

楽しく有意義なはずの「子育て」が寂しい「孤育て」とならないよう一組でも多くの親子が笑顔になれるように願っています。気軽に遊びにきてくださいね。



～参加者の声～

♪ 同じような月齢のお友だちがたくさんでいい刺激になります。

☆ お友だちがいるととてもうれしそうです。 ♪ ママも元気になりました。

♪ 家にいるとぐずるけどここに来ると楽しそう。☆ 久しぶりに楽しくのんびり過ごせました。

☆ 広場での遊び方も少しずつ変わってきて日々の成長が楽しみです。

楽しかったね ファミリーコンサート



11月3日の文化の日に、「わくわく音楽隊」のみなさんによるファミリーコンサートを開催しました。小さいお子さんからおとなまで楽しめるプログラムで、総勢69名が楽しいひと時を過ごしました。

まずは「崖の上のポニョ」で始まり、最初のダンスで身をほぐしパープサートを観て楽しみ、ソロ演奏にうっとり。曲当てクイズは童謡やテレビ、アニメなどのイントロを聴いて題名を当てプロジェクターに映し出された映像を見ながらみんなで歌いました。コマーシャル当てクイズでは「ああのどまで出てるけど…」「知ってる！知ってる！けど何やったかな…??」という声があちこちで聞こえてきそうな雰囲気が出ました。



あかちゃんと一緒にご夫婦で・お友だち同士で・おばあちゃんもいっしょに等々みなさん爽やかな笑顔で文化の日のひとときを過ごすことができました。

パルちゃん広場ぽっかぽか枚方 オープン!!

6番目のパルちゃん広場ぽっかぽかが、2010年11月よりプレ広場を経て、2011年5月に枚方組合員会館でオープンしました。これでパルコープの全組合員会館でパルちゃん広場ぽっかぽかを開催できるようになりました。

枚方組合員会館の2階の会場に敷き詰められたマットの上に、おもちゃやブロック、人形などを準備し、子どもたちは泣いたり笑ったりしながら、のびのびと楽しんでいます。時にはスタッフが手遊びや絵本を読んだり、そしておとなにはコーヒータイムでほっとする時間も…。お茶を飲みながら子育ての工夫を出し合ったり、ちょっと先輩のママからアドバイスをもらったりなどおしゃべりの輪が広がっています。

参加者や地域のニーズに寄り添いながら子育て中の親と子が気楽に立ち寄り、ほっとできて楽しめる場となるような広場づくりを進めていきます。

参加者もスタッフも広場の中で多くのことを学び、気づきあい、広場とともに成長、発展していくことを願っています。



スタッフの声

スタッフとなって意見を言ったり、社会にかかわるようになってうれしい

ひとりで家にいる人たちが、外にでるチャンスになれば、もっと広まったらいいな

パルちゃん広場ぽっかぽか

「ひとりで子育てからみんなで子育て」をテーマに親子がともに「ホッ」とし、リフレッシュでき、子ども達の成長を共に喜び、元気な心で子育てができるようスタッフ全員が心がけ活動しています

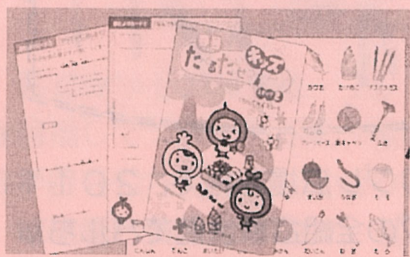
ここでもやってま〜す

パルちゃん広場ぽっかぽか

寝屋川 寝屋川組合員会館	阿倍野 阿倍野組合員会館	城東 城東組合員会館	守口 守口組合員集会室	つるみ店 つるみ店集会室
-----------------	-----------------	---------------	----------------	-----------------

おもちゃや絵本・温かいコーヒーを用意して待っています
くわしくは、ばるタイムやチラシをご覧ください

たべる*たいせつ キッズクラブ



たべる*たいせつキッズクラブのキット

たべる*たいせつキッズクラブも3年目になります。「5歳から小学生向けの通信制食育プログラム」で、年4回季節ごとのテキストが届き、キッズはそのテキストを読んだり、自分が体験したことをおたよりに書いて送ってくれます。ボランティアのサポーターが毎月集まってお返事書きをしています。

お返事は、おたよりに点数を付けたり指導するのではなく、サポーターみんなで、キッズの「おいしかったよ。楽しかったよ。がんばったよ。」などの気持ちを受け止めながら『食』への興味を応援しようと書いています。キッズの年齢やおたよりの中身は様々で、おたよりの向こうに見えるキッズの食卓や家族を応援できるお返事を書くのはたいへんですが、頭を悩ませながら、あれこれ話し合う作業は楽しい時間でもあります。

また体験企画も毎年好評で、家族の話題になるよう工夫したりテーマを決めたりしています。今年度も工場見学とキッズキッチンに取り組み、多くの親子が参加してくれました。おうちでも『食』についての話が広がってくれることを願っています。



キッズキッチンの様子

絵本紹介



こどもがわくわくする本

「ごろごろにゃーん」

長 新太 作・画 福音館書店

“ごろごろにゃーん” 一点張りの文章線描きでシャカシャカとなぐり書きのような場面。それもここはいったいどこ?とおとなには理解に苦しむ絵本。

でも子どもは、目をキラキラさせて絵本の中をどっぷり楽しんでいる。子どもにしかわからない魅力を持っている絵本です。

こどもの気持ちに寄り添う本

「ちょっとだけ」

たきむら ゆうこ さく すずき なかこ 福音館書店

弟や妹ができたことで赤ちゃんがえりする子もいれば「お兄ちゃん、お姉ちゃんになったんだから」とがんばる子もいると思います。そんながんばっている女の子の心情を描いた絵本です。最後の親子の会話にウルッとくるかも…。

下の子のお世話で忙しいお父さん、お母さん「ちょっとだけ」この絵本を手にとってみませんか？

編集後記

もっともっとと思いながら2007年の創刊号から5年の歳月が流れ、なんとかNo.5を発行することができました。寝屋川から始まったパルちゃん広場ぽっかぽかは6ヶ所に。あわせて常設型子育て広場すくすくもでき、子育て支援の輪は着実に広がっています。これからもみんなの力を寄せ合って大切に育てていきましょう。

～ お問い合わせ先 ～

おおさかパルコープ組合員活動サポートセンター
TEL 0120-299-244
FAX 0120-299-230

発行 2012年 3月
おおさかパルコープ
子育てサポートステーション